恵那山　中津川　一ノ沢
２００９．６．６～６．７
メンバー：Ｌ．釣、鈴木、奥平（記）

　前日に仕事でチョンボして、遅い集合にしてもらっていたのに、さらに大幅に遅れて、そのために集合場所も変えてしまった。それでも会ってくれる仲間に感謝。しかもボーっとして運転していたせいか余計な寄り道までして途中で運転も変わってもらう始末。うまくいかない時は何をやってもうまくいかないね。天気も雨が降っており、本当に入渓できるか微妙な気持ちで中津川の林道へ。もう明け方になっているが我らのルートは行程に余裕があり、「こんなよさ気なところを春沢集中で選べるなんて集中担当は懐深いね」などと話しつつ、天気は心配だがあまり足を運ばない山域に心躍らせる。入渓点を確認してさらに進み、下山場所にもなっている駐車場で仮眠。近くにバス停の体をした避難小屋があり、誰もやってこないので快適に仮眠する。そろそろ出かけますかと思うと強い雨。思い切ってこのままのんびりした後に集中下山路として選ばれた黒沢林道を使って、登山路で集中場所にみんなと会いに行くのも手ですよなどとリーダーにけしかけているとそれなりに雨がやんだりしているので予定通り一の沢出合に車で戻って出発することにする。

　もう午前もだいぶ過ぎたけれど野営予定の二俣までならば時間は十分だ。入渓地点から堰堤が見える範囲でいくつもそびえており少なからず興味をそがれる。堰堤の右からが入りやすそうでそこから入ったが、イバラがひどい。鈴木さんはあまり沢登りをしたことが無いと言っていたところこんなことをスタートからさせてしまうことになり少しかわいそう。自分の手もいきなりイバラにやられてかわいそう。左にはしっかり道がついていたので、もしかしたら左から良い入口があるかもしれない。堰堤が６つ、そのあとゴーロ歩き。「スマップで言うとキムタクというよりは稲垣だね」とか、「新御三家で言うとヒデキというより野口だね」とみんなに言いながら歩いてみるがこれと言って反応はない。仕方ないので私鉄沿線を口ずさみながらゴーロ歩きをする。あっという間に到着するのを避けるため休憩を何度か入れてもらうが、遅い出発の割に１３時に野営予定の二俣着。釣りもしないので特にやることなく、昼寝をしてみるがそれでも時間はたっぷりある。薪はあっという間に集まり、火も簡単についたため、体力を残した状態で豊かな生活が手に入った。たき火で何か料理でもできそうだが釣さん食当はレトルトキーマカレー。それ確かにおいしいよね。私も明日の朝同じレトルトカレーです。夜寝ている間に結構な雨量があり、途中目が覚めて眠れなくなった。やることなく昼寝ばかりしていたから仕方がないか。

　翌朝、別のツエルトで寝ていた釣さんのモーニングコールで目覚める。いつのまにか寝ることができたのと釣さんに起こされたことに驚きながら外に出てみる

となかなかの沢登り日和に変わっていた。まるで昨日の残りのカレーを食べるように昨日と同じ味のレトルトカレーを食べて６時半に出発。

　沢は二俣を過ぎてからやっとそれらしさを見せる。１５m滝は左から巻き。滝の上に出るとその先も２段２０m滝になっていて、これも直登は無理で右から高巻く。少し追い上げられ、足を置くところは傾いているが笹があるのでそれを掴めばそんなに恐ろしい感じもなくやり過ごせる。沢に戻りさらに行くと二俣、これを右に行って暫くすると伏流になり採石場のような場所に出た。落石に注意しながらかなり上まであがり、これならもう沢に戻らずに支尾根にあがってしまえばよいと思ったが、リーダーは冷静で、これは違う尾根でこのまま突っ込むと藪こぎで体力を消耗するから一度沢に戻って沢を詰めなおしましょうという。沢に戻って気付いたがこの判断は正解だった。

無理に支尾根を使うと場所が分かりにくいし、藪も大変で良いことは何もない。沢を正しく詰めて笹を掴んで上にあがっていくと無理なく登山道に出た。集合時間までまだ余裕があるのでここで身支度をしてさっぱりした状態で皆の元に向かうと既にほとんどのパーティは集合していた。ほかのパーティの様子を聞くとやっぱり採石場のような場所だったとのこと。結果が分かってしまうと選ばないだろうけれど、地域によっては雪渓が残るこの時期に知らない沢を多数用意してワクワクさせてくれた集中担当には本当に感謝する。パーティ全部の集合はかなわなかったが、怪我もなく、久しぶりに参加した春の沢集中はとても楽しい思い出になった。

コースタイム：

6/6

11:00 出発、入口にいばら

左に巻き道あり

ゴーロと流木の連続

13：00 二俣、泊

6/7

6：30 発

6：40　15M 滝、左を巻く

6：50 滝上（中段）

２段 20M 滝右巻き

笹伝い沢へ戻る 7：30

7：50 二俣

8：30 採石場、伏流になる

9：20 沢に戻る（支尾根上をいけると思うのは間違い）

10：50 登山道

地形図：中津川